

大谷田を通り、亀有駅行きのミニユニティバスを誘致せよ。
【土木】当該コースは、現状の道路幅員が狭小であるため、区画整理の進捗状況を見て、「都市交通懇話会」検討する。



日本共産党
橋本 ミチ子 議員

「障害者自立支援法」 応益負担の撤回以外 障害者の苦痛は解消できない

障害者とその家族のくらしは深刻です
【問】所得に依る「応益負担」から、サービス量に合せた「応益負担」に変わり、利用者の負担は大きくなった。応益負担を撤回する以外、苦痛は解消できないと思うがどうか。
また、居宅介護ヘルパーやショートステイの利用料が上がった。軽減すべきだがどうか。
加えて、当面無料としたコミニケーション支援等の利用料は、無料にすべきだがどうか。

【問】来年開所する知的障害者施設「希望の苑」は、栄養士が配置できない恐れがある。報酬加算分を助成すべきだがどうか。
また、入所施設「竹の塚あか

しあの杜」も開設する。月約10万円かかるので、利用者負担軽減を図るべきだがどうか。
あわせて、小規模のグループホームを計画的に建設する必要があると思うがどうか。
【福祉】報酬の範囲内で栄養士の配置は可能と考える。

また、区独自の利用者負担軽減措置は考えていない。
なお、グループホームは、計画的に整備していく。
子ども医療費助成の拡大を！
【問】4月から、通院を含めた医療費を中学校3年生まで無料にすべきと思うがどうか。
【子育て】財政負担が大きいので、今後の検討課題とする。

【問】来年開所する知的障害者施設「希望の苑」は、栄養士が配置できない恐れがある。報酬加算分を助成すべきだがどうか。
また、入所施設「竹の塚あか

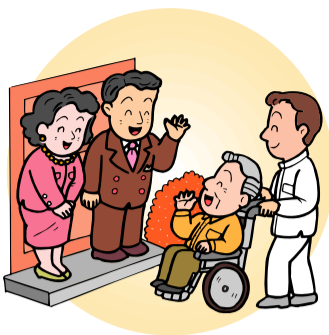


日本共産党
松尾 かつや 議員

交通権保障にたつた交通政策を!!

区民の長年の悲願である竹ノ塚駅付近鉄道高架化の早期実現を

【福祉】応益負担は、国会での審議を踏まえ、適切に対応する。また、区として独自の負担軽減策を実施する考えはない。
なお、国の軽減策等様々な状況を見るために当面としている。



障害者入所施設の利用者負担軽減措置を講じるべき

【市街地】区施行の連続立体化交差事業は想定していなかったため、都と区の事業費負担のルールはない。今後、協議の場の設定や負担のあり方について、

【市街地】区施行の連続立体化交差事業は想定していなかったため、都と区の事業費負担のルールはない。今後、協議の場の設定や負担のあり方について、

【市街地】区施行の連続立体化交差事業は想定していなかったため、都と区の事業費負担のルールはない。今後、協議の場の設定や負担のあり方について、

【市街地】区施行の連続立体化交差事業は想定していなかったため、都と区の事業費負担のルールはない。今後、協議の場の設定や負担のあり方について、



また、都との共催による就職セミナーを行うので、労働法等の説明も予定している。

足立区議会民主党

区政運営は区民・区・議会の三輪車。着実に信頼ある執行を!



民主党
秋山 ひでとし 議員

行政の安定性・信頼性・継続性が失われようとしている

【問】特色ある学校づくり予算のあり方や、市場化テスト導入の断念、那須保養所売却の手続き等、昨今の区行政は謝罪と弁明ばかりで、行政の安定性・信頼性・継続性が失われようとしており、猛省を求めます。

【区長】私は、社会環境の変化に積極的に対応し、常に新しい施策にチャレンジするよう職員に指示してきた。今後も区民との協働を基盤に進取の気風を尊重しつつ、次なる挑戦に果敢に取り組んでいく。

その成果も着実に出ていますが、一方で、施策展開にあたっていくつか齟齬も生じている。

今後、リスク分析を十分に引き、区政の安定性、信頼性を確保していくとともに、議会に対し、十分な説明を行っていく。

【問】市場化テストの条例案には賛成したが、運用には多くの疑問が残る。国の理解が得られないとの説明と謝罪はあったが、確たる調整もせず議会に条例案を提出した責任は重い。この間の経過説明を求めます。

【区民】窓口業務の効率的かつ弾力的な対応と、正規職員を区の重点課題等に配分する目的で導入を検討した。

平成18年7月に「競争の導入による公共サービスの改革」に



このつた国の見解を受け、「内閣府及び関係省庁との協議・調整にお時間を要する」との判断にいたり、平成19年4月からの実施を見送った。

【問】区長の今任期後の進退について、お考えをお聞かせください。
【区長】私は、「区」のイメージアップと産業の振興、「真の福祉」と社会正義の実現、「教育立区」・学力増進への取り組みの強化、「行政の大胆な改革と危機への備え」を公約に掲げ、今日まで全力を挙げて諸課題に取り組み、多くの先進的な試み等も成果を上げてきた。
さらに、足立区のイメージアップや安全安心のまちづくり、「協働」の推進等の課題解決に向け、任期を全うする所存である。

【問】東京都区後期高齢者医療広域連合の保険料等の検討状況はどうか。
【問】東京都区後期高齢者医療広域連合の設立は、医療制度の根幹を変えることになり失敗は許されない。保険料等の検討は、どこまで進んでいるのか。
【福祉】厚生労働省から提示されているものを基に、平成20年4月実施に向け検討していく。要綱・要領は一括管理するとともに要綱集を作るべきだ

【問】要綱・要領は、迅速・公平な区政執行や指導、規律保持、住民保護の観点からも区長決裁で作成されるが、各部で保管するため使い勝手が難がある。条例や規則等のように一括管理した上で、要綱集を作るべきと思うがどうか。
【総務】現在、例規集は年4回ホームページを更新し、年1回冊子を発行している。要綱・要領は、区長等の決裁により随時制定改廃が行われるため、例規集には取り込んでいない。
今後は、ホームページへの一覧表掲載及び例規システムへの取り込みを検討していく。
【問】区が事業へ出資している状況と利用状況はどうか
【土木】平成17年度決算説明によると、経常収益が当初予想より多いと報告されている。
また、利用状況も、初年度想定1日当たり13万5千人を上回り15万人の輸送人員であり、平成18年9月には、19万3千人と発表されている。
鈴木区長の進退についてお聞きする